

項目	6/28 座談会テーマ 『多くの人に地域づくりに参加してもらうためには？』	項目	7/26 座談会テーマ 『地域づくりとは？』
きょうけい	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題を提供する。 ●地域課題の具体化 ●誰でもわかるテーマ設定と取組み方法 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○地域が元気になってくれればいい ○地域づくりは人づくり ○心地よさを感じる場所を作っていくことが究極の地域づくり ○内にいる地域の人楽しみ、そこから自分なりの充実感や達成感を導いたり、地域の人にも生きがいを与えたり、それらを積み重ねていくことで外から見て魅力ある地域に映り、外の人も巻き込んでいく ○現在の活動を充実させていく ○地域をファミリーとしてとらえる ○各団体が“次にどうしていくか”の視点を持つべき時期
環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域づくり」を自分達でも出来そう！と思わせる。 ●小さな成功の積み重ね。 ●同じような人たちを集める(特技、趣味、こんな事をやってみたい等)。 ●役割を与え参加しやすい環境づくり。 ●参画して「よかった」という企画を！ ●話し合える、夢を語る場所作り ●趣味が活かせる地域課題を提供。 ●やる気を引き出す。 ●歓迎してくれる。 ●行事を行う時間設定。 ●やっていて楽しくなければダメ 楽しむことは楽しむ ●足の確保。 ●「地域づくり」で小遣がもらえる!!(稼げる) ●ナンバー2の実力が大事。 	環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○皆が一つにまとまっていくために、まずは小さなところからはじめていく ○自分の住む自治会として動くことができれば、気持ちが変わってくると思う ○自分達で行動したということが意識できると愛着がわく ○報酬で参加を促せるかもしれない ○お世話になったからお返ししようという気持ちが大事 ○地域のイベントに子どもから高齢者まで参加してくれる ○家庭から出る困りごとを解決することが地域づくり—厚田らしさの中でどうできるか ○活動を先輩から後輩へ引き継がれていくことが大事
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な人に声をかけて一緒に参加 ●情報を流す、伝える仕組み作り。 ●呼びかけの継続。 ●色々な行動に参加してもらえるよう声かけが大事。 ●日常の声かけ(元気? ○月○日に○○があるよ。行って見ないかい?)。 ●防災無線の工夫、活用(守るべきルールはあるが、音楽を流すなど出来る範囲で) 	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○活動報告する場から地域づくりが広がる
地域の声の集約	<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板にて意見を募る(懸案・重要事項について意見記入欄(匿名)を設け、住民の参加意識を高める) ●委員の皆さんが区民の声を持参する (Aさんがイベントについて○○な感想を持っているなど)。 ●委員の皆さんが自分の活動とは別の活動に参加し感想を述べてもらう。 ●町内会への参加や、町内会単位のアンケート。 ●テーマを決めて関係する人と座談会 (子育て・移住など) ●協議会を厚田・望来以外でも開催 (地域の人に覗きに来てもらう) 	地域の声の集約	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な立場の人から意見を聞く(小中学生、子育て世代等) ○地域から意見を聞くことが必要 アンケート(年代別)
新たな動き	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティスクールへ力を入れる (学校への関わり)。 ●新設校を核とした動き(若い世代)。 ●厚田カンパニーの実現 ●民泊ビジネスの成功例を提示し、民泊セミナーを開催 	新たな動き	<ul style="list-style-type: none"> ○外の人を入れながら、負担がかかり過ぎず続けていくこと ○区外の人、住まなくても活動の拠点を厚田にしてもらう ○道の駅への期待 ○ちょっと引き止める何かが厚田に必要な